

『わたしのVIVID』

郵の料亭地御前 光永 雄一

鮮コーポレーションの経営理念で一番基本になっている言葉は【VIVID:活き活き】です。『わたしのVIVID』というテーマのメッセージをリレー形式で掲載します。今回は光永支配人の登場です。

ピビッドには、活き活きとしたという意味が込められています。私が活き活きと働くことができるのは、家族の支えがあってこそだと思えます。それに加えて大事なことは、仕事、会社が好きであるということだと思えます。飲食業は働く時間が長く、若い方は、あまり正社員として働きたがらないと聞きます。長い時間働くからこそ、仕事、そして会社が好きでないと続けられないのだと思います。

私が鮮コーポレーションに入社して13年が経ちますが、入社した当時のことは今でもよく覚えていてます。一番強烈な印象として残っていますのは、初めて参加させていただいた「決起大会」のことです。たぐさの方が表彰のステージに上がり、この一年頑張った事を認められ、たくさん拍手をもらっていました。温かい雰囲気の中で、各店の方が楽しんで食事をしている光景が、今まで小さな店ではなかった私には、とても新鮮で温かみを感じました。決起大会の最後に、藤野常務が小林部長を表彰される際、小林部長へたくさんの愛情を持って育ててくれたお礼の言葉を言われたことが涙が出ました。その後西田社長が正畑バイヤーに、今まで頑張ってきたことが報われるような感謝の思いを伝えられていたシーンを見て、私は涙が止まらない程感動してしまいました。人を大切にしてくれる会社なんだ、こんな会社があるんだなど。

今思えば、あんなにたくさんの人達の前で涙を流すのは恥ずかしい事だと思えますが、あの時の感動が会社を好きになった原点です。ここ数年は、決起大会を会社全体で行っていますが、何年前かは役職毎に分けて実施したり、店毎に実施したりしていました。

個人的には全体で行うのが一番好きで、決起大会の日は今でもわくわくします。日頃は会えない、以前勤務していた店舗のパートナー達に会えたり、頑張ったスタッフが認められる姿を見たりするのもとても嬉しいことです。決起大会を今後も全体で実施できる状態を作り続けていくことで社員だけでなく、パートナー達ももっと会社を好きになるような会にしていくことが、これから自分の責任だと思っています。そして、若い方だけでなく、たくさんの人達が、この会社に入りたいたい、この会社に入って良かったと思ってもらえるような環境を作っていくこと、自分の働いている会社を自慢できるような会社、店にしていくこと、鮮コーポレーションの店はどれも嬉しいいなえと言ってもらえる会社にしていくこと、今はこれが私のピビッドの原動力となっております。

鮮コーポレーションが目指している、【おいしい、おいしい、おいしい】を追求していくことは、仕事でありながら楽しみでもあります。私は少し、すし屋の寿司が好きです。大福の焼肉も大好きです。各店の料理がどれもおいしくなる、それが食べることができると思うと嬉しくなります。

この仕事は、食べる事が好きということも活き活きと働くために大事な事だと思えます。家族からは、ただの食いん坊だと言われるのですが、仕事なんだと言いつけられていることもこの仕事の良さのひとつです。

おいしいものは、人を幸せにします。たくさんの人に幸せを提供する、立派な仕事だと思えます。そのために、まず働く人が活き活きと働ける鮮コーポレーション郵の料亭 地御前であるよう、微力ながら取り組んでいきます。



↑ 広大なぶどう畑

山梨・東京 研修

【参加者】 主任 政伸さん 主幹 京子さん 林本 大谷

11月10～11日

郵の料亭 地御前の3名の研修レポートを抜粋して紹介致します。この経験をもとに皆さんの活躍が期待されます。



↑ ぶどう畑の見学後に試飲も



取獲期が終わる葉だけになっていましたが、見学用の一部実を付けたままにされ、お客様に楽しんでいただけるようにされています。葡萄の栽培方法は、棚仕立てという頭上を這わせる方法でなく、低く実を付けさせ栄養を行かせる垣根仕立てという方法でした。醸造は出来る限り品種ごとに行うので、醸造室には昨日まで発酵を始めたワインがあり、植物のような青っぽい香りがしました。発酵後はタンクもしくは樽で熟成させ瓶詰めし貯蔵されます。栽培家と醸造家が同じ思いで12品種の葡萄を育て自然の力を存分に活用して登美の丘の個性を表現した美味しいワインを作られています。

自店でサントリーのワインを取り扱うようになり、いつか行きたいと話していた山梨県の「サントリー登美の丘ワイナリー」。その歴史や作り方を知らず、甲府盆地を見下ろす丘の葡萄畑をバスで回る「登美の丘ツアー」に参加。よりワインに興味を持ったところでテイスティング。数年に一度、様々な条件が重なった時だけできる「貴腐ワイン」を試飲しました。

ワイン作りがどんな物か前知識としてはあったものの、実際に目の当たりにしたことは全く貴重な体験をさせて頂きました。ヨーロッパの牧歌的な雰囲気のある建物で統一された園内は、そのほとんどが葡萄畑で占められていました。1990年に開園したお敷地を駆け回って常土に土をあげ肥えた土壌で葡萄の生育を行っているかを見学させていただきました。

↑ 広大なぶどう畑

部屋に入るにあたり、目に入ったのは、囲炉裏を囲うようなイメージで灰が敷き詰められたテーブル。それだけでなく、ここは炭火焼料理が定番なのだと分かった。プレートに盛り付けた「食べてみたい」という新規の集客にも繋がるのか、どうやらお客様に覚えてもらおうのかを考え、実行している事が大変だなと感じたお店でした。

飲食店訪問① 青山 Casita (カシター) カシターでは、そのエンターテイメント性をサービスで表現していました。例えば、誕生日の人に対してのシャンパンを、その当人の名前入りのラベルで用意しておく特別な演出。お客様との会話を通じて、この席がどのような集まりなのか、どこから来たのかを情報収集し、インターネット等を介して調べられたのか、実際に郵の料亭 地御前のロゴを探し当て、そのロゴをシール化して紙エプロンに添えて置くという、粋な演出をして下さいました。

飲食店訪問② かい鳥山 高尾山口駅から送迎バスがあり、着物姿の女性が数名で迎えて下さいました。山奥に琴の音が聞こえ、びっしりと苔の生えた茅葺門をくぐる大きな水車があり、歴史を感じさせる玄関先には車椅子が数台完備されていました。郵の料亭では車椅子の置き場が決まっておらず、雰囲気壊すのではとお客様の目にもすぐ付く所には置いていませんでした。必要な方に不親切だと気付き、研修後に、早速、移動させました。

voice お客様の声

杜長へのハガキ アンケートから 11月末から 12月到着分



◆カルピ屋大福 呉店 70歳の誕生日にお祝いに参りました。店が綺麗になっていて、店長さんが「たくさんのお金がいりなっています。頑張らなくては！」と言っているのが、従業員さんが、まだ慣れてなくてよそ様のメニューも持ってきたり、サツタが「普通遅く届いたりして困りました。又、近日内に行くと予定です。」

◆カルピ屋大福 西条店 常連です。我家は大福にしか行きません。ライバル店がありますが、行くのがめんどくさい、肉が美味しさを一番です。他店より店内の明るさがあり、居心地が良いと思います。頑張ってください。 【40代男性 西条市内から】

◆カルピ屋大福 三原店 息子が帰省し、久しぶりに利用しました。今日は2人の誕生日ハガキをもらって良かったこともあり、毎年お祝いハガキが届くのを嬉しく思います。(高尾山?)女性の社員さんが血の数を数えてくださっている時、私も血を測ってました。すごく嬉しかったです。ありがとうございます。感謝。 【40代女性 三原市内から】

◆カルピ屋大福 三原店 赤ですが、もう無くなりました。20時過ぎだったので、遅いのは申し訳ないのですが、ネタも売切れてしまいました。ビールを頼んだのですが、忘られてしまいました。最後に思い出して出されたのですが、急いで飲んでお腹が冷えました。 【30代女性 三原市内から】

◆カルピ屋大福 三原店 赤ですが、もう無くなりました。20時過ぎだったので、遅いのは申し訳ないのですが、ネタも売切れてしまいました。ビールを頼んだのですが、忘られてしまいました。最後に思い出して出されたのですが、急いで飲んでお腹が冷えました。 【30代女性 三原市内から】

◆カルピ屋大福 三原店 赤ですが、もう無くなりました。20時過ぎだったので、遅いのは申し訳ないのですが、ネタも売切れてしまいました。ビールを頼んだのですが、忘られてしまいました。最後に思い出して出されたのですが、急いで飲んでお腹が冷えました。 【30代女性 三原市内から】

◆カルピ屋大福 三原店 赤ですが、もう無くなりました。20時過ぎだったので、遅いのは申し訳ないのですが、ネタも売切れてしまいました。ビールを頼んだのですが、忘られてしまいました。最後に思い出して出されたのですが、急いで飲んでお腹が冷えました。 【30代女性 三原市内から】

◆カルピ屋大福 三原店 赤ですが、もう無くなりました。20時過ぎだったので、遅いのは申し訳ないのですが、ネタも売切れてしまいました。ビールを頼んだのですが、忘られてしまいました。最後に思い出して出されたのですが、急いで飲んでお腹が冷えました。 【30代女性 三原市内から】

◆カルピ屋大福 三原店 赤ですが、もう無くなりました。20時過ぎだったので、遅いのは申し訳ないのですが、ネタも売切れてしまいました。ビールを頼んだのですが、忘られてしまいました。最後に思い出して出されたのですが、急いで飲んでお腹が冷えました。 【30代女性 三原市内から】

◆カルピ屋大福 三原店 赤ですが、もう無くなりました。20時過ぎだったので、遅いのは申し訳ないのですが、ネタも売切れてしまいました。ビールを頼んだのですが、忘られてしまいました。最後に思い出して出されたのですが、急いで飲んでお腹が冷えました。 【30代女性 三原市内から】

すし 三原学園通り店



ハツテラがすごく美味しく、幸せな気持ちでこの厚みが嬉しくなります。脂が甘くて、何のサバがすっくと、あります。 【30代女性 尾道市内から】

すし 三原学園通り店

ハツテラがすごく美味しく、幸せな気持ちでこの厚みが嬉しくなります。脂が甘くて、何のサバがすっくと、あります。 【30代女性 尾道市内から】

ハツテラがすごく美味しく、幸せな気持ちでこの厚みが嬉しくなります。脂が甘くて、何のサバがすっくと、あります。 【30代女性 尾道市内から】